

ふるさと納税について

富田 勝

問 地方税の一部を生まれ故郷などの自治体に納める構想のため、転入者の多い場合などは財源が奪われることになる。反面、転出者が多ければ税収が増えることになる。割合はどうか。

答 17年度で114人、18年度で234人転出者が多くなっております。

問 深谷をふるさとと考えてもらうために、PRやアピールを考えないのか。また構想について市の考えは。

答 制度の内容がはっきりしないため、PR等は考えておりません。今後の動向を見守りたいと考えております。

旧花園地内の公共下水道について

問 道の駅周辺は公共下水道区域外だが、計画区域の拡大



道の駅周辺地域

答 19年20年で工事を予定しております。ポンプ場が花園橋対岸に建設され圧送され、花園地区で接続します。メリットはありません。県や寄居町に対して十分認識していただくよう働きかけます。

問 ホンダ進出による下水道工事について概要とメリットは。

答 19年20年で工事を予定しております。ポンプ場が花園橋対岸に建設され圧送され、花園地区で接続します。メリットはありません。県や寄居町に対して十分認識していただくよう働きかけます。

問 申請を県に行ったところ、事業認可を受けた区域を先行し財政状況等を踏まえながら順次整備をしてまいりたいと考えております。

生活習慣病の予防対策について

柴崎 重雄

問 生活習慣病の予防は市民の健康確保と財政上の医療費抑制の大きなカギと考えられるが、実際の施策と今後の対策について聞きたい。

答 健康増進教室や健康相談事業、基本健診、がん検診、機能回復維持、再発防止指導、受診勧奨活動などで予防に取り組んでまいります。

はしか予防対策について

問 若者を中心に、はしかが流行している。その予防対策について聞きたい。

答 公費負担である定期予防接種の接種率を100%に近づけるよう努力いたします。

学校・公園の遊具の安全対策について

問 各地での遊具事故により多数の死傷者が出ている。市

監視を強めていただくよう要請してまいります。

問 施設関係者の日常点検、委託業者の定期点検、地域住民の通報等により注意深く管理してまいります。



上柴公民館

公共施設の整備について

問 市内の公民館は、ここ何年かで老朽化のため建替え、改修が行われている。今後の公民館の整備計画を聞きたい。

答 建築時期、老朽化の状態、施設設備の状態、利用状況など総合的に考慮し検討してまいります。特に上柴公民館につきましては、市内最大の利用者数、部屋数不足、築25年の老朽化、大学建設に伴う利用数増加予測等を考慮しますと、整備計画の検討時期に来ていると考えられます。

旧深谷市、旧合併3町のインフラ整備の格差について

小川真一郎

問 道路環境及び、公共下水道、農業集落排水の整備格差について、新深谷市が誕生し、均等な住民サービスが得られるため、均衡ある基盤整備が必要と思われるが、今後の方針を聞きたい。

答 道路整備は、旧市、旧町の政策による整備率の差がありますが、自治会からの要望に基づき、緊急性、重要性を考慮いたしまして、予算の状況や地域のバランスなどを配慮しながら進めていきます。公共下水道、農業集落排水については、各市町の財政状況、事業開始年度がそれぞれ異なるため整備に格差が生じている状況であります。今後の整備は、現認可区域を優先し、財政状況を踏まえて順次進めていきます。

深谷市住環境ユニバーサルデザイン化資金助成制度について

問 新築工事は対象外となっているが、例えば、糖尿病を患っている方が将来自分は車椅子になると思い新築の際にスロープをつけた工事や、体の不自由な家族との同居を考えた新築工事は対象としてもいいと思われるが、なぜ対象外なのか。

答 現在新築については、ユニバーサルデザインの考えが浸透してきており、手すりなど標準装備として設置されているため、費用もそれほどかからないのではという考えから対象外としました。

緑と清流福川の汚水問題について

栗原 征雄

問 某食品会社の排水が汚水のため福川の水質を汚染しているが、何年たっても改善されていない。環境課はどのような対策を考えているのか。

答 水質汚濁に関する問題につきましては、埼玉県北部環境管理事務所とその指導権限があるため、本市としては早期解決が図られるよう指導の徹底について、北部環境管理事務所に対し強く依頼してまいります。

問 福川にはコイなどが沢山生息しているが、福川のコイの禁漁指定ができないか。

答 福川については、埼玉中央漁業協同組合の話や禁漁区の指定は難しい問題です。ただ「遊魚承認証」を持たないものは魚を捕ることができませんので、福川を管理している中央漁業協同組合に



福川

道路側溝の清掃問題について

問 道路側溝にふたがしてあるので、側溝に土砂などが堆積しているが、ふたの取り外しが困難であり清掃できない状況である。今後どのような清掃作業を行政は考えているのか。

答 道路側溝や排水路等の清掃やしゅんせつにつきましては、地元の皆様のご協力をいただきまして実施しているところですが、また、ふたの取り外しが困難な場合がありますが、側溝清掃のふた上げ機械を各公民館に置いてありますので、ご活用していただきたいと思います。

南通り線の歩道の整備は

新井 慎一

問 昨年全線開通した南通り線は、新しく開通した部分とそれ以前の部分とは、歩道の形状に大きな違いがある。それ以前の部分の歩道では、不規則な傾斜や段差、また街路樹の根の張り出しによる凸凹等がそこかしこにあり、たいへん歩きにくい形状となっている。現に高齢者の転倒事故もあり、早急の改善が望まれるが、どうするのか。

答 国が定めた道路構造令によつて道路整備を進めていま



南通り線

問 深谷・岡部・川本・花園の各地域を代表する文化財について写真パネルを作成し、これを本庁また各総合支所のロビー等を利用し、巡回展示をしたらどうか。新市としての一体化を図る意味からも、こうした文化財を通じて相互の理解を深め合うことが必要だと思ふ。

答 具体的な開催時期や展示場所の確保など、課題を精査し調整した上で、計画してまいります。